

令和8年度病害虫発生予察注意報第2号

令和8年5月28日

岐阜県

作物名 果樹（ナシ、モモ、カキ、リンゴ、ミカン等）

病害虫名 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ越冬世代成虫）

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 5月下旬～7月下旬

3 発生程度 多い

4 予報の根拠

- (1) チャバネアオカメムシ越冬量調査で、越冬成虫数の平均は、1.2頭/落葉50L(平成1.3頭)と平成並であったが、捕獲地点率は63.6%(平成46.5%)であり、過去10年間で3番目に多かった(表)。
- (2) チャバネアオカメムシの予察灯での誘殺数(5月第3半旬までの累計)は、岐阜市26頭(平成3.7頭)、高山市8頭(平成0.0頭)(図1)と多く、フェロモントラップでの誘殺数(5月第4半旬までの累計)は、岐阜市109頭(平成48.3頭)、美濃加茂市165頭(平成53.8頭)と多い(図2、3)。
- (3) ツヤアオカメムシの予察灯での誘殺数(5月第3半旬までの累計)は、岐阜市45頭(平成1.6頭)(図4)、美濃加茂市23頭(平成10.5頭)と、平成に比べ多い。
- (4) 一部のナシ園、モモ園で飛来が確認されており、気温の上昇とともに飛来する園が多くなる可能性が高い。

5 防除上の注意事項

- (1) 果樹カメムシ類の被害の発生には地域差や園地差があるので、園内へ飛来を確認したら防除を実施する。なお、薬剤散布は夕方か早朝に行うと効果的である。
- (2) 果樹カメムシ類の飛来は夜温及び湿度が高く、風の弱い日に多くなるので注意する。
- (3) 防除に当たっては、周辺環境、気象条件等に注意し、薬剤の飛散防止に努める。
- (4) 農薬の使用にあたっては、最新の登録情報(<https://pesticide.maff.go.jp/> 農薬登録情報提供システム)を参照し、適正に使用する。

表 チャバネアオカメムシ越冬量調査結果

<調査時期：令和8年1～2月>

調査年度		調査年度											
		R7	平年	R6	R5	R4	R3	R2	R元	H30	H29	H28	H27
岐阜市	東秋沢	0	0.8	2	0	0	0	0	6	0	0	0	0
	彦坂川南	1	0.4	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
海津市	南濃町奥条	1	1.2	5	0	0	0	0	6	0	0	0	1
大野町	牛洞	0	0.3	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0
本巣市	法林寺	0	0.3	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0
美濃市	曾代	2	2.1	1	2	0.5	0	1	5	3	1	3	4
美濃加茂市	山之上西洞	3	1.5	2	2	0.9	1.3	0	7	0.5	0	1	1
	山之上中之番	1	1.4	1	3	0	0	0	8	1	0	1	2
中津川市	落合	1	0.1	0	0	0.3	0	0	0	0	1	0	0
	阿木	4	1.3	2	6	0.8	2	0.5	0	2	0	0	0
恵那市	武並	0	4.4	5	19	0	1	0	3	3	—	—	—
平均(頭)		1.2	1.3	1.7	3.0	0.3	0.5	0.1	3.5	0.9	0.3	0.5	0.9
捕獲地点率(%)		63.6	46.5	72.7	54.5	45.5	36.4	18.2	81.8	45.5	30.0	30.0	50.0

調査地点1カ所あたり50Lの落葉を採取し、ハンドソーティングにより調査、調査数値の単位は頭数

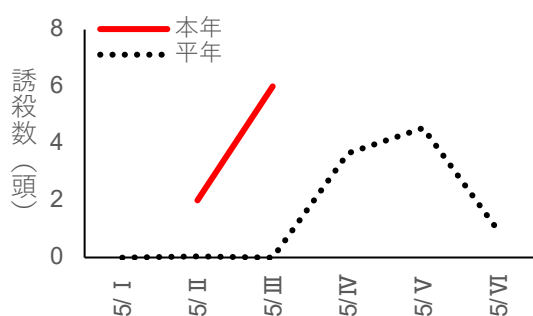


図1 予察灯でのチャバネカメムシ誘殺数 (高山市)

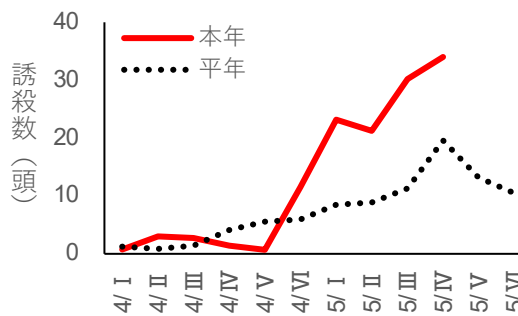


図2 フェロモントラップでのチャバネカメムシ誘殺数 (岐阜市)

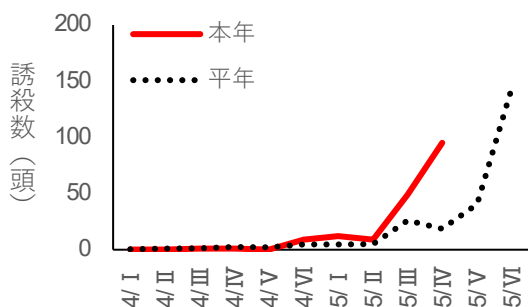


図3 フェロモントラップでのチャバネカメムシ誘殺数 (美濃加茂市)

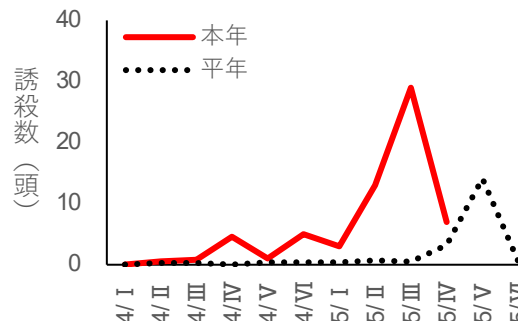


図4 予察灯でのツヤアオカメムシ誘殺数 (岐阜市)